

まちづくり住民懇談会における中心核整備に係る主な質疑応答

《事業費》

Q 1. 整備費用が 55 億円から 83 億円、101 億円になった。資材費や人件費の高騰変動要因も理解できるが、総事業費の見通しはできていたのか。

A 1. 55 億円は当初の概算費用であり、具体的な設計等が進み、精査した費用が 83 億円であったが、昨今の物価高騰、施設設備の見直し（コミセンの公民館機能の付加）、発注済みの整備費用を計上したところ 101 億円となった。いずれも時点修正であり、今後も住民の皆さんにはその都度ご説明していく。事業費の増額は、施設更新の時期が重なっているためであり、余分な施設を整備している訳ではなく、必要な施設を整備しているということをご理解いただきたい。

Q 2. 60 億円程度の予算規模の町が、約 59 億円借入金があると返済が心配。よく検討してほしい。

A 2. 借入金の返済については、令和 7 年度は 4～5 億円、ピーク時は 10～15 年後に 8 億円と仮置きしている。20～30 年の返済計画で平準化を図っていく。住民の方々に過度な負担を強いることのない財政運営をすることが行政の仕事である。

Q 3. 101 億円からさらに増額となる見込みはあるか。

A 3. 今後の社会経済の状況次第になる。整備時期の延伸、規模の縮小等工夫は必要。今後設計に着手する施設について、増額となる可能性があることはご承知おきいただきたい。補助金や良質な地方債を活用していく。
全体計画はお示したとおり進めていくが、整備（小学校、学童保育所、公園）については都度議論し、財政シミュレーションを示しながら議会にも確認いただいている。

Q 4. 公園整備計画では町民の意見を反映していただいたことには感謝するが、整備費用が 5 億円まで増額した。節約できるところは節約しながら進めてほしい。
借入金について、人口 1 万人規模で年間予算 100 億円を超えているのは本来ありえない。事業が落ち着いた時期の予算の中で 8 億円の返済は難しいと思う。将来を見据えた財政計画を議会にも確認いただきたい。

A 4. 計画を進めていくなかで、その都度時点修正しながら、議会にも説明し財政運営を図っている。企業誘致、新たな産業用地確保およびふるさと納税等工夫しながら財源確保に努めていく。

《整備スケジュール》

Q 5. 現在の 6 年生が在籍中（令和 8 年 3 月まで）に新竜王小学校が完成しないことは残念。
その他の施設についても遅れることがないように計画を着実に実行してほしい。これからの子ども達のための先行投資でもある。

A 5. 開校について、約半年遅れることになり申し訳ない。その他施設については遅れることがないように進めていく。

Q 6. 全体の整備スケジュールがさらに遅れる可能性もあるのか。

A 6. 財政面を含めて検討していく中で、整備時期を調整するという可能性はある。

《小学校》

Q 7-1. 費用が増大していることから、計画見直しも必要。具体的には竜王西小学校を竜王小学校に統合すべき。竜王町の全ての小学生が良質な環境で教育を受けられるようにしてほしい。

A 7-1. 現在竜王小学校の児童数は340名、竜王西小学校は200名。この規模の学校の統合について、近隣市町では事例がない。将来的には検討すべき課題であると認識しており、新小学校においては、統合に対応できるような施設設計にしている。しかしながら、現時点での竜王西小学校は西小学校区のコミュニティの拠点であり、防災の拠点でもある。コミュニティスクールの活動では「西小プライド」と銘打って熱心に取り組んでおられ、町として非常に良い活動と捉えており、現時点での統合は必要ないと考えている。今後も住民の皆さんの意見を聞いて検討していきたい。

Q 7-2. 「西小プライド」や防災拠点が大事ということは理解できるが、竜王西小学校区の住民は、近隣にスーパーマーケットがなく、商業施設を求めている。西小跡地に商業施設併設型の防災施設をつくり、グラウンドも住宅開発すれば良い。「西小プライド」のパワーはすごいものだと思っているので、これを竜王町全体に活かしてほしい。人口減少を見据えた行政運営をお願いしたい。(要望)

Q 8. 小学校について、以前合併の話があったと思うが完全になくなったのか、今後検討していくことなのか現時点での考えを伺う。

A 8. 現時点では竜王西小学校は存続していく。各学校の良さがあり、西小学校コミュニティスクールでは「西小プライド」と銘打ってふるさと学習に取り組んでおられ、防災拠点としての役割も大きい。改修工事をしながら西小を大事にしていく。10年先15年先に統合に向けての民意が高まってくればその時点で検討していく。

《学童保育所》

Q 9. 整備費用が4億円を超えることから、新竜王小学校の放課後空き教室を開放するよう検討すべき。小学校の空き教室を活用できればこれだけの費用をかける必要もない。

A 9. 当初1億円を見込んでいたが、入札結果は2億7千万円。需要増加によりクラス数を3から4クラスに変更、また多目的室を含めて5クラス相当での建築となった。以前は小学校の利用可能な教室を学童で使うこともあったため、検討したが、各運営主体と協議する中で、別棟で管理した方が効率的であるとの結論に達したため、新築することとなった。

《学校給食センター》

Q10. 整備費用が10億円を超える見込みであり、今後人口は減少していくのに整備するのか。維持管理も大変。竜王町の良さを残す方法は自前の施設でなくてもあるはず。自前の施設以外の方法も検討すべき。

A10. 簡単に他市町と合同で調理するという訳にはいかない。合理化を図りながら竜王らしさを活かした運営方法を検討しているところである。

《コミュニティセンター》

Q11. コミュニティセンターにレストランを併設するなど、魅力ある複合施設にすべき。

A11. 様々な利用者の方のご意見を聞きながら施設の有効活用を図っていきたい。現在、公民館では「卓球」など人が集う工夫を凝らしている。アイデア勝負だと思うので引き続きご協力いただきたい。

《小学校跡地》

Q12. 竜王小学校跡地の住宅地について、車の往来の激しい交差点でもあるので、道路脇には沿道サービス系の商業施設等楽しめるエリアも必要。

A12. 時代に合った魅力あるゾーンとなるよう、民間のアイデアも取り入れながら進めていきたい。